

平成 29 年度 日本赤十字社診療放射線技師会 東部ブロック研修会開催報告

開催当番病院： 長岡赤十字病院 田村厚司

平成 29 年 11 月 11 日(土)～12 日(日) 長岡グランドホテルにおいて、
平成 29 年度日本赤十字社診療放射線技師会 東部ブロック研修会を開催した。

開会日直前に 2 名の欠席(那須：山下明、深谷：飯島秀信)が生じたが、最終的に 8 県 18 施設および来賓を含め 79 名の参加者であった。

今回は安彦茂新会長から会長講演を頂いた。教育講演として、群馬県立県民健康科学大学の佐々木浩二先生からは放射線治療に関するご講演、ならびに長岡赤十字病院の西原眞美子先生からは救急外来の頭部 CT で見られる重要な所見について、また特別講演としては、長岡造形大学の和田裕先生から「人間中心設計」についてのご講演を頂いた。

代表者会議では、来年度春開催の代表者会議の場所および日程、次回以降の東部ブロック当番病院の確認、ブロック委員選任方法の確認、今後のブロック研修会では会長講演と災害講演が必須となることなどを討議した。

【プログラム】

11 月 11 日(土) 会場 4F 蒼柴

12 : 30 受付開始

13 : 00 開会式

大会長挨拶

長岡赤十字病院 林 智

院長挨拶

長岡赤十字病院 川嶋 禎之

13 : 15 会長講演

「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会

会長 安彦 茂 様

13 : 45 教育講演

「イメージガイドによる放射線治療」

群馬県立県民健康科学大学

教授 佐々木 浩二 様

14 : 35 休憩

14 : 45 一般演題 I

座長 長岡赤十字病院 菅井 正之

長岡赤十字病院 神林 裕司

1 一般撮影における読出し装置の違いによる検査時間短縮の検討

日本赤十字社医療センター

木本 茜緒

2 DMQC ファントムを用いた当院 MMG 装置における CNR・SCTF 管理幅の検討

長岡赤十字病院

本永 みなみ

3 放射線科におけるインシデント・ヒヤリハット報告への取り組み

- さいたま赤十字病院 石脇 剛弘
- 4 線量校正における気圧計の精度管理
- 成田赤十字病院 高橋 夕希子
- 5 頭頸部治療におけるセットアップエラー低減の取り組み
- 長岡赤十字病院 野村 知広
- 15:35 休憩
- 15:50 特別講演 座長 長岡赤十字病院 林 智
「人間中心設計 Human Centered Design」
長岡造形大学 学長 和田 裕 様
- 16:40 休憩
- 16:50 施設代表者会議 進行 林 智
議長 東部ブロック理事 大貫 信也
- 18:00 情報交換会 会場 2F 悠久

11月12日(日) 会場 2F 悠久

- 8:30 開場
- 9:00 教育講演 座長 長岡赤十字病院 入澤 佳弘
「救急疾患の頭部 CT 見逃してはいけない所見、放っておいてよい所見」
長岡赤十字病院 西原 眞美子
- 9:50 休憩
- 10:00 一般演題Ⅱ 座長 長岡赤十字病院 若月 栄介
長岡赤十字病院 飯浜 忠俊
- 6 私が受けた新人教育～急性虫垂炎～
深谷赤十字病院 小島 萌
- 7 胸腹部撮影における撮影条件の検討
那須赤十字病院 中澤 佑介
- 8 当院における全身外傷 CT プロトコールの検討
武蔵野赤十字病院 齊藤 大輝
- 9 ASSET における展開エラー発生条件の検討
武蔵野赤十字病院 東 大樹
- 10 3D-ASL の活用と展望
日本赤十字社医療センター 松本 ジョエル
- 10:50 休憩
- 11:00 次回当番病院挨拶 さいたま赤十字病院
- 11:30 閉会式